



平成二十九年 度

# 支部総会・大懇親会・新会員歓迎会

副支部長 幕田 真二

五月十三日(土)の十五時三十分より、ホテル法華クラブ函館において、平成二十九年 度の夕陽会渡島支部の総会を開催しました。

木村孝支部長の挨拶に始まり、ご来賓としてご臨席賜りました夕陽会会長藤川隆様より、来年六月に開催される夕陽会百周年記念事業や母校の現状などについてご祝辞をいただきました。

その後、報告事項、協議事項の説明があり、全ての事項について承認されました。



また、役員改選では、福井伸一新支部長(鹿部小)を始め、十名の新役員が決まり、総会を終了しました。そのあと、十七時より大懇親会・新会員歓迎会となりました。司会進行は土橋史人幹事長(大中山中)。約九十名の参加のもと、夕陽賛歌を声高らかに

歌い、会が始まりました。新役員紹介、福井新支部長の主催者挨拶に続き、北海道教育庁渡島教育局義務教育指導監西村和彦様と渡島教育委員会教育長会会長與田敏樹様よりご祝辞をいただき、夕陽会会長藤川隆様のご祝杯のご発声により祝宴に入りました。

出席した三名の新会員の自己紹介。毎年恒例の大抽選会。応援・エール。寮歌の大合唱と会が進みました。特に、応援・エールでは楽しい演出で大いに盛り上がりました。

終わりに、知内町教育委員会教育長本間茂裕様のご発声による乾杯で会員の絆の強さを改めて確認し合い、会を終えることができました。

何かとご多用の中、ご出席くださいました皆さまに心より感謝しあげます。

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに教育の振興に寄与する。

## ● 運営方針 ●

### 一、支部・支会の連携強化

- ・ 会員の同窓意識を盛り上げる。
- ・ 会員相互の助け合いを大切に。
- ・ 支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- ・ 情報活動を活性化させる。
- ・ 支会と連携しながら、同窓の輪を民間へと広げる。

### 二、会員の向上・援助

- ・ 会員相互の研修活動を促進する。
- ・ 人材の発掘と登用を積極的に進める。
- ・ 新会員(新採用者・渡島管内勤務初経験者)への援助・啓発に努める。
- ・ 退職会員への感謝と激励に努める。
- ・ 本部及び他支部との連携の充実・発展を図る。
- ・ 本部事業への積極的な協力を図る。(百周年記念事業準備への協力)
- ・ 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
- ・ 本部からの支援を積極的に求める。

### 三、「夕陽渡島」の発行

- ・ 親しまれ読みやすい「夕陽渡島」の発行に努める。(年三回発行)

### 四、研修事業の活性化

- ・ 新会員激励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- ・ 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

### 五、退職会員との連携

- ・ 勇退者への「感謝と激励の会」を開催する。
- ・ 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進する。
- ・ 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」を発行する。
- ・ 勇退会員へ記念品を贈る。

### 六、本部事業への積極的協力と参加

- ・ 本部主催の行事への積極的参加と協力を図る。
- ・ 本部前納会員への加入のための支援を行う。
- ・ 百周年記念事業成功に向けて協力する。

### 七、関係機関との連携・提供

- ・ 関係機関と連携を強化して、事業を推進する。

### 八、その他

- ・ 主幹教諭昇任者・教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ祝詞等を送付する。
- ・ 夕陽会新採用者が渡島管内学校に着任した場合祝詞等を送付する。
- ・ 慶弔関係への対応を迅速に行う。

### 二、情報・資料の提供

- ・ 管内及び他支部との情報交換に努める。
- ・ 本部との情報交換を積極的に進める。

### 一、支会訪問と支援

- ・ 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。

## ● 事業推進方針 ●



## 支会だより

## さくらと書道の町から



松前支会会長  
(大島小学校)  
岩井 栄一

松前町は渡島の西端かつ南端に位置し、西は日本海に、南は津軽海峡に面しています。北海道唯一の城下町で、桜と城で有名な町です。また、近年は、郷土が産んだ金子鷗亭先生にちなんだ書道の町としても有名です。

平成二十八年の北海道新幹線開業は、この松前町にも経済効果をもたらし、平成二十八年、二十九年ともに、四〜五月のさくらまつりの来場者数は増えてきています。

町内の学校は、三小学校(松城・小島・大島)、一中学校(松前)、一高等学校(松前)があります。五年前までは、七小・二中・一高でしたが、館浜小・松前小・白神小・大島中は統合により現在はありません。現在の六小中高校は日常的に連携やつながりが深く、町教育

研究所、町生徒指導連絡協議会、町学校保健会などの組織の活動も活発で、小・中・高連携が進んでいる町です。

町教育委員会の方針により、平成三十年から、小中一貫教育(併置型)とコミュニケーションスクール制度がスタートします。今年度はその最終準備の年で、各種計画や指導観のさらなる一致のための取組を精力的に進めているところです。

また、国の教育課程特例校制度を活用し、小中学校には「書道科」が設定されており、高校の書道教育と連携して、小中高一貫した書道教育が強力に推進されています。

さて、夕陽会員は、渡島の他市町に比べるとやや少ない感がありますが、総勢十五名を有しています。松城小五名、小島小二名、大島小二名、松前中五名、松前高校一名となっています。その内、校長・教頭は四名です。

現在、今年度総会・懇親会を開催すべく調整をしているところです。

## 支会だより

## 「良い町」の夕陽



知内支会会長  
(知内小学校)  
小野 俊英

知内町は、今年、町制施行五十周年を迎えます。

これを記念し、国道横に立つカントリーサインの図柄も、これまでの特急とサケから、町内中学生から公募した、町の特産物である牡蛎とニラをモチーフにしたマスケット「ニララとかき太郎」と青函トンネル出入口にちなんだ新幹線を合わせた図柄に変更になりました。

私事ですが、この春、本町に異動となりましたが、その際、実に多くの方から「知内は良い町だよ」と声をかけられました。この地で生活を始めて二ヶ月半、その言葉の意味を肌で感じることが実に多かったというのが感想です。

町長も、教育長も、「知内は人材育成に自信を持っている」と話すとおり、毎朝の子供の見守り隊の活動、社会教育委員や

その他団体の熱心な取組、地域・保護者の学校への協力など、町に活気があると感じる場面が多くあります。

その分、関係する会議も多くなって大変ではあるのですが、そのたびに、町に対する力強い思いを持つ多くの方に出会えることがとても刺激になります。

こうした「地域」という揺りかごの中で、子供たちは実に明るく素直に育っていると感じます。

知内は小学校三校、中学校一校のほか、幼稚園・保育園と町立高校があり、教育に関する連携も密で、町校長会や町教育研究所の取組は全校種で組織し熱心な活動を行っています。こうした教育に係る体制をとりやすい丁度良い大きさも「良い町」につながっていると考えます。

夕陽知内支会は現在、小・中四校、二十五名の会員数です。この後六月三十日に支会の総会及び懇親会を開催し、今年度の取組をスタートさせます。

丁度良い大きさの利点を最大限生かし、会員の連携を密に、夕陽の力を結集して、「良い町」の良さを更に高めます。

平成29年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	岩 井 栄 一	大島小学校	武 内 貴 宏	大島小学校
福 島	飯 田 典 紀	福島小学校	小 田 将 之	福島小学校
知 内	小 野 俊 英	知内小学校	竹 下 正 彦	知内小学校
木古内	幕 田 真 二	木古内小学校	中 田 裕 治	木古内小学校
北 斗	小 栗 陽 子	石別小学校	佐 藤 健	石別小学校
七 飯	岩 間 唯 史	大中山小学校	中 野 聡	大中山小学校
鹿 部	福 井 伸 一	鹿部小学校	長谷川 美栄子	鹿部小学校
森	岩 元 広 一	濁川小学校	野 口 達 史	濁川小学校
八 雲	見 延 誠 一	落部小学校	藤 谷 毅	落部小学校
長万部	池 田 克 己	静狩小学校	福 永 英 丈	長万部小学校
五 稜	深 見 亘	渡島教育局	大 山 裕 之	渡島教育局

平成29年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	市 川 秀 雄	終身会員
	鈴 木 牧 男	終身会員
	高 橋 伸 夫	終身会員
	木 村 孝 充	終身会員
支 部 長	福 井 伸 一	鹿部小
	長 崎 充 宏	東野小
副支部長	幕 田 真 二	木古内小
	工 藤 達 也	七重小
監 査	小笠原 英 緒	大沼小
	土 橋 史 人	大中山中
幹 事 長	白 石 眞 嗣	久根別小
副幹事長	三 谷 龍 司	鈴蘭谷分校
会計幹事	雨 澤 啓 司	大中山中
	佐 藤 健	石別小
庶務幹事	池 田 浩 司	福島中
	中 田 裕 治	木古内小
広報幹事	伊 藤 明 彦	市渡小

▶夕陽会渡島支部事務局◀

〒041-1121  
 亀田郡七飯町大中山3丁目291-1  
 七飯町立大中山中学校内  
 土 橋 史 人  
 電 話 0138-65-2221  
 F A X 0138-65-1349

会 務 中 間 報 告

【平成28年度】

4月8日(土) 校長採用・教頭昇任者、新採用者  
 へ祝詞を発送する

4月10日(月) 各支会現況調査依頼を発送する

13日(木) 総会案内・大懇親会案内を発送する

14日(金) 第3回支部役員会議案内を発送する

28日(金) 第3回支部役員会議を開催する

(大中山中学校)

19日(月) 平成29年度会費納入依頼文書を各  
 支会に発送する

21日(火) 福島支会総会・懇親会に出席する

(幕田副支部長)

23日(金) 鹿部支会総会・懇親会に出席する

(小笠原監査)

30日(金) 七飯支会総会・懇親会に出席する

(福井支部長)

【平成29年度】

5月13日(土) 平成29年度支部総会・大懇親会  
 (新会員歓迎会)を開催する  
 (ホテル法華クラブ函館  
 参加者91名)

17日(水) 支部大懇親会(新会員歓迎会)の  
 礼状を発送する

八雲支会総会・懇親会に出席する  
 (福井支部長)

22日(月) 本部大懇親会の案内を発送する

6月8日(木) 第3回本部役員会に出席する  
 (ホテル函館ロイヤル  
 福井支部長・土橋幹事長)

17日(土) 全国支部長会議に出席する  
 (福井支部長・土橋幹事長)

17日(土) 本部総会・大懇親会に出席する  
 (ホテル函館ロイヤル  
 大懇親会支部参加者35名)

7月4日(火) 第1回支会長幹事長会議の案内を  
 各支会に発送する

第1回支部役員会議案内を発送する

木古内支会総会・懇親会に出席する

(工藤監査)

11日(水) 第1回支部役員会議を開催する

(大中山中学校)

13日(木) 森支会総会・懇親会に出席する

(長崎副支部長)

14日(金) 第1回支会長幹事長会議を開催する

(大中山コモン)

18日(火) 夕陽渡島NO.132を発行する

24日(月) 長万部支会総会・懇親会に出席予定  
 (土橋幹事長)